高浜市記者クラブ同時配布





図案集(表紙)と図案

平成24年12月7日(金) あいち産業科学技術総合センター 常滑窯業技術センター三河窯業試験場 担当 宮田、星 電話 0566-41-0410

电前 0000-41-0410

愛知県産業労働部産業科学技術課

管理・調整グループ

担当 西村、山口

内線 3389、3381

ダイヤルイン 052-954-6347

常滑・高浜地域の陶磁器関連の過去の資料・試作品を かわら美術館で初公開します

戦後日本を代表する陶磁器デザイナーの日根野 作三*1氏が、愛知県陶磁器試験場*2 (現・あいち産業科学技術総合センター常滑窯業技術センター及び三河窯業試験場)において制作した 2 冊の陶磁器図案集と、それを基に同試験場の職員らが昭和 20 年代半ばから昭和 30 年代に制作した試作品 36 点を、愛知県と高浜市がかわら美術館で開催される展示会で初公開します。

これらは日根野氏が戦後まもなく愛知県にてデザイン指導を行っていた際に制作されたもので、愛知の陶磁器産業界において常に材料、技術、デザイン開発をリードしてきた愛知県陶磁器試験場と、革新的デザイナー日根野氏のコラボレーションによって生み出されたものです。

専門家による記念講演会や、三次元造形機による最新のデザイン開発プロセスの ご紹介も併せて行います。多くの皆様のご来場をお待ちしております。

<展示会の概要>

1. 名称

愛知県陶磁器試験場設立 70 周年記念 「日根野 作三と陶磁器試験場のモダンデザイン展」

2. 日時

平成 25 年 1 月 2 日 (水) ~1 月 27 日 (日) 午前 9 時から午後 5 時まで (ただし、月曜日 (1 月 14 日は開館) と 1 月 15 日 (火) は休館日)

3. 場所

高浜市やきものの里かわら美術館(愛知県高浜市青木町 9-6-18)

4. 主催等

主催:高浜市やきものの里かわら美術館、愛知県

後援:高浜市、碧南市、高浜市教育委員会、高浜市観光協会、NHK プラネット中部

協力:三河陶器協同組合、三州瓦工業協同組合、三河窯業試験場運営協議会

5. 観覧料

高校生以上200円(160円)、中学生以下無料

- ※() 内は高浜市内居住者および20名以上の団体料金
- ※ 75歳以上の方、各種障がい者手帳をお持ちの方ほか、割引あり
- ※ かわら美術館の同時開催企画展「新春の瓦展」との共通観覧券

6. 展示構成

- (1) <新発見>日根野 作三の図案集
- (2) デザインから作品へ
- (3) デザイン開発プロセスの現在

7. 関連イベント

記念講演会「日根野 作三の仕事」

日 時 平成25年1月14日(月・祝) 午後1時30分から午後3時まで

場 所 高浜市やきものの里かわら美術館 3 階講義室

講師 唐澤 昌宏 氏(東京国立近代美術館工芸課長)

内 容 陶磁器デザインの先駆者日根野 作三の活動と作品の魅力について

参加費 無料

募集人数 60 名 (先着順)

申込方法 平成 24 年 12 月 14 日 (金) 午前 9 時より かわら美術館 (0566-52-3366) にて電話受付します。

8. 間い合わせ先

(1) 高浜市やきものの里かわら美術館

担 当:金子

電 話:0566-52-3366 FAX:0566-52-8100

(2) あいち産業科学技術総合センター 常滑窯業技術センター 三河窯業試験場

担 当:宮田、星

電 話: 0566-41-0410 FAX: 0566-43-2021

【用語解説】

※1 日根野 作三(ひねの さくぞう)氏(1907-1984)

明治40年、三重県阿山郡新居村(現在の伊賀市西高倉)生まれ。昭和2年東京高等工芸学校工芸図案科付属工芸彫刻部(現、千葉大学工学部)卒業後、小森忍の山茶窯(瀬戸市)を経て、京都国立陶磁器試験所に勤務。戦後はフリーのデザイナーとなり、愛知・岐阜・三重・滋賀・京都などの陶磁器産地でデザイン指導を行った。人間国宝である濱田庄司氏から「日本の陶磁器デザインの80%は日根野氏がつくられた」と賞賛されるなど、陶磁器デザインに大きな影響を与えた人物。愛知県陶磁器試験場には、昭和20年代半ばから約20年に亘り巡回指導に訪れた。

※2 愛知県陶磁器試験場

昭和 16 年 (1941 年)、常滑町立常滑工業試験場が愛知県に移管され、愛知県常滑陶磁器試験場となる。3 年後に「愛知県陶磁器試験場」と名称変更された(同三河分場は昭和 29 年に設置)。この後 25 年間「愛知県陶磁器試験場」として窯業技術の革新に取組み、昭和 43 年には施設の移転に伴って、愛知県窯業技術センターと名称変更した。以上の経過を経て、現在のあいち産業科学技術総合センター常滑窯業技術センター及び三河窯業試験場に至る。今年度、設立 70 周年を迎えた。



2013年1月2日⊛→1月27日 9:00~17:00

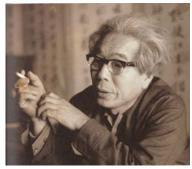
高浜市やきものの里かわら美術館

日根野作三と陶磁器試験場のモダンデザイン展

日根野作三は、戦後日本を代表する陶磁器デザイナーで、明治40年(1907)、現在の三重県伊賀市に生ま れました。昭和2年(1927)東京高等工芸学校を卒業後、陶磁器デザイナーとして本格的な活動を始めた 日根野は、京都の国立陶磁器試験所などを経て、戦後はフリーのデザイナーとして活躍を始めます。京都、 信楽、瀬戸、美濃、常滑など多くの陶磁器産地でデザイン指導を行うなど、昭和59年(1984)に亡くなるまで 陶磁器デザインの先駆者として大きな足跡を残しました。民芸運動の立役者であり人間国宝となった濱田 庄司は「日本の陶磁器デザインの80%は日根野氏がつくられた」と賞賛の言葉をおくっています。

本展示は、今回新たに発見された、日根野が戦後まもなく愛知県陶磁器試験場(現あいち産業科学技術 総合センター常滑窯業技術センター、三河窯業試験場)において制作した2冊の陶磁器図案集と、それを 基に同試験場の職員らが制作した試作品36点を、初公開するものです。これらの作品は、昭和16年(1941) の設立後、愛知の陶磁器産業界において常に材料、技術、デザイン開発をリードしてきた愛知県陶磁器 試験場と、革新的デザイナー日根野作三のコラボレーションによって生み出されたものです。

会場では、最新の造形機器を使ったデザイン開発プロセスの紹介も併せておこないます。この機会に 日根野作三の斬新なデザインと、陶磁器試験場の技術の融合をお楽しみ下さい。



日根野作三(昭和41年頃)



愛知県陶磁器試験場外観(昭和30年頃)

 $\dot{\mp}$ 催 高浜市やきものの里かわら美術館、愛知県

後 援 高浜市、碧南市、高浜市教育委員会、高浜市観光協会、NHKプラネット中部

力 協 三河陶器協同組合、三州瓦工業協同組合、三河窯業試験場運営協議会

観覧時間 午前9時から午後5時まで(観覧券の販売は午後4時30分まで)

観 覧 料 高校生以上200円(160円)、中学生以下無料

※()内は高浜市内居住者および20名以上の団体料金

※ 75歳以上の方、各種障がい者手帳をお持ちの方ほか、割引あり 月曜日(1月14日は開館)、1月15日(火)



干支の置物(亥)(昭和33年)

EVENT

記念講演会「日根野作三の仕事」

平成25年1月14日(月·祝) 午後1時30分~3時

場 所 3 階講義室

唐澤昌宏氏(東京国立近代美術館工芸課長) 講 師 内 容

陶磁器デザイナーの先駆者日根野作三の活動と作品の魅力

についてお話しいただきます。

参加費 無料

60名(先着順) 募集人数

平成24年12月14日(金) 午前9時より

かわら美術館(0566-52-3366)にて電話受付します。

ギャラリートーク(「新春の瓦展」もご案内いたします)

時 日 平成25年1月20日(日) 午後2時~

場 所 2階展示室

当館学芸員 謙 舗 参加費 無料(ただし当日観覧券が必要)

※詳細は、かわら美術館(0566-52-3366)まで、お問い合わせください。

□交通のご案内 Accessibility



To min. by waik from the Metretsu Mikawa Line Takanamaminato Station 各飲名古屋本線(知立]駅またはJR東海道本線(別合)駅で名鉄三河線碧南行に乗り換え Change to the Meitetsu Mikawa Line (toward Hekinan) at the Meitetsu Nagoya Honsen Line "Chiryu Station" or the JR Tokaido Honsen Line "Kariya Station"

車 by car 郵助多半島道路河久比インターから約15分 Approximately 15 min from the "AquilC" on the Chitahanto Expressway ●画道23号(知立パイパス) 西中インターから約20分 Approximately 20 min. from the "Nishinaka IC" on Route 23 (Chiryu Bypass)

|●国道23号 (知立パイパス) 高棚福釜インターから約15分 Approximately 15 min. from the "Takatanafukama IC" on Route 23(Chiryu Bypass

〒444-1325 愛知県高浜市青木町九丁目6番地18 TEL 0566-52-3366 FAX 0566-52-8100 http://www.takahama-kawara-museum.com/

< 同時開催>

新春の瓦展

瓦は雨や日差しから建物を保護するという実用的な建築材料ですが、 そこにはまた古来「家を守る」という祈りの気持ちが込められていました。鬼 瓦や、留蓋瓦の獅子などは、邪気を払う(辟邪〔へきじゃ〕)という重要な役割 を持っていますし、瓦の文様にはまた、幸せを招くためのさまざまな文様 (吉祥[きっしょう]文様)が使われてきました。

平成25年の新春を迎えるにあたり、かわら 美術館の収蔵品から、このような祈りの心の こめられた瓦を展示します。年のはじめに、 むかしの人びとが瓦にこめた幸せへの願いを 感じとっていただければ幸いです。

主 催 高浜市やきものの里かわら美術館

※「日根野作三と陶磁器試験場のモダンデザイン展」 との共通観覧券となります

※ 観覧時間・休館日も共通です。



文字文軒丸瓦「富貴万歳」 (中国・漢/前3~後3世紀)

特別展 一東日本大震災復興祈念-みちのくの瓦 東北と三州をつなぐもの 2013.2.2(sat)-3.17(sun)